

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第21号 R元. 9.18

茨城県教育研修センター
教科教育課
☎0296-78-3213 (直通)



若手教員〔2年次〕研修講座（中学校，教科）第1日を実施しました

令和元年度若手教員〔2年次〕研修講座では、勤務校でのOJTを活用した研修を中心に、2日間、教科実践研究の内容検討や発表を行います。学習指導上の課題を「興味・関心を高める導入と主体的に取り組める学習課題の設定または提示」、「課題を解決させるための適切な言語活動の設定」として、生徒の実態に応じた手立てを考え、授業実践を繰り返すことで、授業力の向上に取り組めます。以下に第1日の研修の一部を紹介します。

4月 5月 6月 7月 9月 9/11 10月 11月 12月 1月 1/17 2・3月

OJT → 学習指導案の作成 OJT 学習指導案の手直し → 教科実践 → 成果と課題の作成 OJT まとめ

第1日 研究協議「教科実践研究の内容検討」

受講者は事前に作成した学習指導案をもとに研究協議を行いました。

その後、学習指導案を手直しして、OJTを活用しながら、PDCAサイクルでの教科実践研究を継続して進めていきます。



▲研究協議の様子

【参考資料】

中学校学習指導要領 第1章 総則より 平成20年3月 文部科学省

【第4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項】

各教科等の指導に当たっては、生徒の思考力、判断力、表現力等をはぐくむ観点から、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、生徒の言語活動を充実すること。

ポイント1 各教科等の指導において言語活動を充実すること

ポイント2 思考力・判断力・表現力等をはぐくむ観点から言語活動を充実すること

※各教科でどのように言語活動を設定し、充実を図っていくかが重要です。

第2日 研究協議「教科実践研究の発表」

第1日を実施して気になること以下の4点（講座担当より）

【学習指導上の課題について】

様式Iについて以下の確認をお願いします。

2年次は以下の2つの課題を改善するために授業改善をしていきます。

- ① 「興味・関心を高める導入と主体的に取り組める学習課題の設定または提示」
- ② 「課題を解決させるための適切な言語活動の設定」

①、②の手立てが学習指導案や授業の展開から読み取れないレポートがありましたので、再度、確認をお願いします。

【本時の目標と評価の整合性について】

・本時の目標と評価がズレないように再度、確認をお願いします。

【学習課題と学習のまとめの整合性について】

・「学習課題」と授業終末の「学習のまとめ」がズレてしまう学習指導案が見られましたので、整合性がとれるよう確認をお願いします。

【目標と評価規準の語尾について】

・各教科の特質もありますが、再度、語尾について確認をお願いします。

国立教育政策研究所HP参照：<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html>



2学期授業実施
修正した様式Iと様式IIを
12月27日(金)までに提出

第2日の研修日
令和2年1月17日(金)

ある教科の一例です。各教科で確認してください。

観点	目標	評価規準
関・意・態	～しようとする	～しようとしている
思考・表現	～できる	～している
技能	～できる	～している
知識・理解	～できる	～している